

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 27

東北森林管理局

取組名	安定供給システムによる販売（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署
実施箇所及び実施日	管内国有林の保育間伐の造林費活用型で生産される素材の中から平成23年度中に販売
取組の背景及び必要性	流域における地域材の需要・販路の確保、林業事業者の育成、雇用の確保等、木材関係者からのニーズ等に対し、安定的に対応する必要がある。
取組の内容	流域内の集成材工場等への計画的・安定的に販売し、流通・加工体制の整備や林業事業者等の育成に努めることを目的に、23年度においては、約18,000 m <sup>3</sup> を販売。
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署、局販売課等 需要量の把握 <span style="float: right;">（企画、募集、実行）</span>
連携協働相手先・役割	流域内集成材工場、合板工場 生産体制の整備、販路の拡大 <span style="float: right;">（購入）</span>
取組の結果、反響、今後の課題等	関係の事業者では、素材供給の安定的な確保ができると好評である。
PRの実施状況及びその期待する効果	日頃から関係の事業者に対して、システム販売についてPR

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 28

東北森林管理局

取組名	林業事業体等に対する安全作業指導等（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署
実施箇所及び実施日	宮古市区界南田代山国有林361林班ほか 平成23年8月26日
取組の背景及び必要性	伐倒時のかかり木処理、トラクタ集材、チェーンソーによる造材、刈払い機等による労働災害が発生している中で、林業事業体等から労働安全確保を図るため指導等の要請がある。 また、間伐作業等における低コスト作業システム等の導入に向けた検討会を併せて要請されている。
取組の内容	今年度は、「民国連携による森林整備事業現地検討会」として実施した。参加者は、岩手県沿岸広域振興局の林務室、市町村の林務担当者、管内で作業している林業及び工事業者、宮古地方森林組合他の合わせて100名であった。 午前中は間伐作業における低コスト作業システム等の検討、午後からは、宮古労働基準監督署等による安全作業指導を実施した。
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署 フィールドの提供、資料作成（企画、募集、指導、実行）
連携協働相手先・役割	岩手県沿岸広域振興局の林務室、宮古労働基準監督署、林業・木材製造業労働災害防止協会岩手県支部による低コスト作業システムの説明と安全指導（募集、指導）
取組の結果、反響、今後の課題等	管内の関係機関が一堂に会し低コスト作業システム等の検討結果、参考となることが多かったとの話が多かった。 今後においては、高性能林業機械を導入した作業システムについても、検討会を開催する必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プリスリリース、管内で作業する事業体へ案内状 効果：国有林が中心となり実施したことから、森林管理署の取組が評価された。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 林業事業体等に対する安全作業指導等（継続）



現場での開催状況



室内での開催状況

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 29

東北森林管理局

取組名	森林観察歩道の整備（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署
実施箇所及び実施日	宮古市重茂字鮎山国有林内 平成23年10月29日（土）
取組の背景及び必要性	地域住民から森林の中で森林観察等のフィールドの提供要望が多いことから、森林・林業への理解を深めるためにも、署の管理歩道を森林観察等も実施できるよう整備する必要がある。
取組の内容	一年を通じて森林観察等が可能な宮古市重茂半島国有林内の管理歩道について、森林ボランティア等の協力を得ながら歩道の整備を実施。 なお、森林ボランティア等の参加者は、37名であった。
国有林担当部局・役割	フィールドの事前調査・準備、作業用具の貸出、作業指導（企画、募集、指導、実行）
連携協働相手先・役割	地元の森林ボランティア等から歩道整備への協力を得る。（協力）
取組の結果、反響、今後の課題等	森林ボランティア等の協力を得て、歩道1,800mの整備が完了した。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース 効果：地域住民に対する森林環境教育等へのフィールド提供及び国有林のPRとなった。

【参考資料】

取 組 名

森林観察歩道の整備（継続）

宮古市重茂 鮎山国有林内



作業地まで移動(植生学習)



作業地まで移動



刈払機での作業状況



手鋸での作業状況



手鋸での作業状況



手鋸での作業状況



歩道整備の中腹からの眺望



参加者 全員での集合写真

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 30

東北森林管理局

取組名	森林環境教育の推進（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署
実施箇所及び実施日	① 宮古市日の出町 宮古市立第二中学校の教室 平成23年 9月 5日 ② 宮古市早池峰山国有林 平成23年 9月29日 ③ 宮古市藤畑国有林 平成23年10月 3日 ④ 宮古市鮎山国有林（十二神自然観察教育林） 平成23年10月29日
取組の背景及び必要性	管内の市町村等から森林教室や林業体験等への指導者派遣及びフィールド提供並びに森林教室開催等の要望があり、森林環境教育を推進する意味からも要望に応える必要がある。
取組の内容	① 林業体験の事前学習 主催は宮古第二中学校 参加者 中学一年生58名 教師4名（講師を2名派遣） ② 森林・林業講座 主催は三陸北部森林管理署 参加者 応募者28名（講師8名） ③ 宮古湾復興祈願植樹祭 宮古第二中学校と共催 参加者 中学一年生58名 教師4名 応募者33名（講師を2名派遣） ④ 森林ふれあい教室 主催は宮古市緑化推進協議会 参加者 応募者23名（講師1名派遣）
国有林担当部局・役割	指導者の派遣、フィールドの提供、作業用具の貸出、企画書の作成、フィールド内の動植物調査等（企画、実行、講師）
連携協働相手先・役割	地元の市町村の担当者等、企画書作成等（企画、募集、引率、実行）
取組の結果、反響、今後の課題等	市町村等の期待に応えることによって、森林環境教育の推進につながった。今後においても、地元の期待に応えるために森林管理署のスキルアップが必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プレスリリース 効果：市町村等から講師派遣及びフィールド提供等に対して、感謝されるとともに、良好な関係の構築及び職員のスキルアップにつながった。

【参考資料】

取 組 名 森林環境教育の推進（継続）



薬師岳の植生観察 1



薬師岳の植生観察 2



薬師岳の植生観察 3



宮古湾復興祈願植樹 1



宮古湾復興祈願植樹 2



宮古湾復興祈願植樹 3

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 31

東北森林管理局

取組名	マスコミ及び下流域住民に対する森林施業等の紹介（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署
実施箇所及び実施日	宮古市区界南田代山国有林361林班ほか 平成23年8月26日
取組の背景及び必要性	マスコミ及び関係団体等に対して、国有林野事業の理解と協力を得るために、日頃から森林施業等を紹介する姿勢が必要である。
取組の内容	今年度は、マスコミ及び宮古地方森林組合を対象として実施した。 宮古地方森林組合では、第40回森林組合デーの記念行事として国有林の現場を訪れものである。森林組合員の参加者は、46名であった。 なお、現場は保育間伐活用型で、「民国連携による森林整備事業現地検討会」と併せて実施した。
国有林担当部局・役割	紹介内容の決定、企画書の作成等 (企画、募集、指導、実行)
連携協働相手先・役割	企画書の作成等 (企画、募集、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	列状間伐の現場において実施したことから、森林組合では列状間伐の導入例が少ないことから、質問が多くあった。 今後においても、交通アクセスが比較的よいフィールドを見つけ出すのに苦慮している。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：プリスリリース、管内で作業する事業者へ案内状 効果：国有林が中心となり実施したことから、森林管理署の取組が評価された。



【参考資料】

取組名 マスコミ及び下流域住民に対する森林施業等の紹介（継続）



列状間伐箇所での開催状況

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 32

東北森林管理局

取組名	クマタカ等希少猛禽類のモニタリング調査（継続）
流域名	久慈・閉伊川流域
森林管理署名	三陸北部森林管理署 久慈支署
実施箇所及び実施日	モニタリング調査を実施 監視カメラによる調査は、4月26日～8月31日まで実施
取組の背景及び必要性	クマタカ等の希少猛禽類が餌不足のために繁殖率が低下し、将来における種の存続が危惧される状況にあり、保護団体等から営巣地近くを伐採後の更新時には、猛禽類の餌動物の餌となる適当な樹種の植栽が要望されているところである。しかしながら、三陸地方において猛禽類の餌動物のデータが不足していることから、営巣地に監視カメラ設置等によるモニタリング調査を実施し、猛禽類の生息に効果的な森林施業を検討する必要がある。
取組の内容	クマタカ等について、平成21年から実施し、実際の営巣状況及び営巣地に監視カメラの設置並びに双眼鏡等によるモニタリング調査を保護団体等の協力を得ながら実施している。 なお、監視カメラで撮影されたデータについて、3月末までに解析する。
国有林担当部局・役割	モニタリング調査、資料のまとめ等 (企画、調査)
連携協働相手先・役割	地元保護団体等と連携し、モニタリング調査を実施 (情報、協力)
取組の結果、反響、今後の課題等	イヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類の餌動物を解析することにより、保護団体等も期待している効果的な森林施業の検討及び生物多様性に配慮した取組に資することができる。 なお、監視カメラで撮影された小動物の解析には、長時間を要する。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：見合わせ 効果：希少猛禽類を保護するための三陸沿岸地方の効果的な森林施業の検討及び生物多様性保全に配慮した取組に役立てることができる。

## 平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 33

東北森林管理局

取組名	地元自然保護団体主催の森林観察及び森林教室への協力 (継続)
流域名	久慈・閉伊川
森林管理署名	三陸北部森林管理署 久慈支署
実施箇所及び実施日	久慈市山形町平庭国有林 (第1回) 震災の影響により中止 久慈市山形町平庭国有林 (第2回) 平成23年9月29日
取組の背景及び必要性	河川の清掃活動等を行っている「くじ・川の会」(市内自然保護団体)から、川の上流部にある森林について観察・学習したいとの要望があり、下流域の住民に森林・林業を理解してもらう上で極めて有意義なことと考え、平成7年度から実施している。
取組の内容	「くじ・川の会」の依頼を受け、開催場所、テーマ等を決定し資料を作成、講師を派遣して森林教室を実施。 春は震災の影響により中止したが、秋は、「平庭岳散策と平庭秋の草花観察」として植物等の観察を主体に平庭高原で実施。 参加者21名(内職員3名)の参加で、教室を開催した。
国有林担当部局・役割	三陸北部森林管理署久慈支署 フィールドの提供・森林教室講師
連携協働相手先・役割	参加者の募集・バスの手配
取組の結果、反響、今後の課題等	開催回数が20回を超えており、マンネリにならないよう実施内容の充実に努める必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	川の会の活動は幾度か新聞に掲載され、国有林のPRにもなっている。活動事例として詳しく掲載されれば、広く一般に国有林の果たしている役割を知ってもらう機会となる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名

地元自然保護団体主催の森林観察及び森林教室への協力  
(継続)



平庭岳からの眺望



参加者の散策風景



森林教室風景

